

百人町教会週報

主日ネット礼拝順序

証詞 賈 晶淳
奏楽 録音

前奏 Prelude

讃美 Hymn 425 番(こすずめも、くじらも)

主の祈り C Lord's Prayer C 93-5 C

献げ Offering

報告 Report

聖書 Scripture ルツ記 2 章 1-23 節(旧 422p)

証詞 Testimony 「落ち穂拾い」

祈祷 Prayer

讃美 Hymn 419 番(さあ、共に生きよう)

黙想 Meditation

応答 Response roba1970@purple.plala.or.jp

今年の聖句

『わたしはすべての人にわが霊を注ぐ。あなたたちの息子や娘は預言し、老人は夢を見、若者は幻を見る。』ヨエル三の一

今週の聖句

『モアブの女ルツがナオミに、「畑に行ってみます。拾わせてもらいます」と言うと、ナオミは、「わたしは、行っておいで」と言った。』ルツ記二の二

✦ 本日の集会 (Zoom ID 「607 777 8018」 PS 「roba1970」)

懇談会 (Zoom) 10 月 18 日(日)午後 1 時半

✦ 今週の集会

世話人会 (Zoom) 10 月 19 日(月)午後 2 時

聖書研究会 (Zoom) 10 月 21 日(水)午後 7 時半

聖書 民数記 35 章 担当 柳下千恵子氏

✦ 来週の集会

主日ネット礼拝 10 月 25 日(日)午前 10 時半配信

✦ 案内と消息

坂 敬夫氏ご逝去(享年 85 歳) 10 月 12 日(月)家族葬

百人町教会総会・永眠者記念会・50 周年記念会

11 月 1 日(日)午後 1 時～昼食/総会/永眠者記念/出版記念

場所 戸山サンライズ大会議室(新宿区戸山 1-22-1)

参加希望は牧師/世話人迄(弁当代 2 千円、飲物各自持参)

富田牧子氏チェロコンサート 11 月 3 日午後 1 時/3 時/6 時

ギャラリー古藤(江古田) 2500 円(090-6340-3999)

✦ 特別献金 石田美智代氏(ネット礼拝感謝)

✦ 先週の集会報告

	女	子	男	計	席上献金
生田緑地	10/12	6	4	10	9,000

✦ 11 月礼拝・日誌担当

	司会	証詞	奏楽	受付・献金	会員日誌
1	小島悦子	賈 晶淳	朴 美卿	権田一正	小川ひとみ
8	榎本征子	賈 晶淳	前中榮子	小川和男	木村真理子
15	赤尾泰子		西堂いづみ	新谷照子	井上明子
22	新谷照子		泉谷五十鈴	小池恵子	小野寺寿々恵
29	小池恵子		千葉道代	小川和男	空閑厚樹

集会場所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 1-34-13 東京家政専門学校 2 階 <http://www.hyakunincho-church.com> 携 090(6176)5403

連絡先 〒162-0066 新宿区市谷台町 14-1-701 賈 晶淳(カジヨンス) Tel/Fax 03(6273)2930 E-mail roba1970@purple.plala.or.jp

◇牧師日誌◇

No. 666

私たちが敬愛する坂敬夫さんが 12 日(月)の夜、入院先の清瀬の東京病院にて永眠になられた。享年は今年 31 日に誕生日を迎えられる 85 歳である。死因は肝臓がんによるもので病院に入院されたのが先月の 20 日(日)であり 4 週目の初日であった。入院中の治療はご本人の希望で一切受けずにおられ、コロナ感染症のため面会も一切できなかった。その間病勢の悪化で 10 日(土)から面会が可能となり、ご家族に会われた時は喉に何にも通せない様態で、幸いだったのは最期まで痛みや苦しみが無い姿でおられたという話であった。

12 日、生田緑地の野外集いを終え、ちょうど家に戻った時に百合子さんからお電話があり、11 日に面会をして来たという知らせであった。家族のみの面会であるため自分ではできなくても外で応援することを思い翌々日に車で一緒に病院に行くことにした。夕飯を終えた頃に再びの電話で逝去のお知らせを受けた。すぐ車で真理子さんと恵さんが先に来ている病院へ向かい、霊安室でお会いした時には安らかな顔であった。ご本人やご家族の希望とコロナの心配もあり家族葬に決め、15 日午後 3 時に斎場でのお別れの礼拝、16 日午前 9 時過ぎ火葬前の祈りをささげ、大変温かく、深い感謝を込めた会であった。

故人は生涯キリスト者として歩まれ、美竹教会から百人町教会 50 年の歩みにずっとご一緒され、退職後この時まで教会の会計、机並べなど率先してなされ、北支区の部落解放委員会委員、所沢 9 条の会のメンバー、反原発や平和運動などの運動家として精進された。個人的には日曜の坂コーヒーを忘れられない。

◇会員日誌◇

北 博

先日、久しぶりに楽天戦を観に行き驚いた。球場内のあらゆる売店や遊戯施設が、一つの例外もなくキャッシュレス限定と表示されている。即座に黙示録 13 章 17 節を思い出し、強い恐怖を感じて何も買う気になれなかった。応援は互いに距離を取って声を出さずに拍手で。歌も禁止。ウィズコロナとかニューノーマルとか怪しげな横文字が横行しているが、これからどんな社会になっていくのか全く分からない。僕の大学時代、年配の方々に「近頃の大学生は少年マンガを読む」と苦言を言われたが、僕はマンガも哲学書も読み耽った。そしてワープロを経てパソコンが普及し、更に iPad を経て今やスマホが常識となり、IT ネイティブと言われる世代の中にも世代間格差が生じているらしい。そして今後、お泊り会もバカ騒ぎも知らず、ひたすら家でオンラインワークにいそしむ、ポストコロナと呼ばれる新世代が形成されることになるのだろうか。そうだとすれば、今までもそうだったように、この世代は物の見方や感じ方が他の世代とは随分違うだろう。しかしそれはある意味、仕方のないことだ。彼らなりにその中に苦悩や喜びを見出すことだろうし、表現の仕方は違ってもそこに世代を超えた一種の共通性もあるのではないだろうか。

僕は教会への出席を制限されて以来、教会に行けない日曜日は家庭礼拝を動画に撮ってフェイスブックにアップした後、ひたすらいろいろな教会の礼拝をユーチューブやフェイスブックで覗き見する生活をして過ごしている。これがまた、やたら楽しい。簡単には行けないフィリピン奥地の教会の礼拝まで、ライブで覗くことが出来る。ズームの会議もなかなか評判がいい。これから、今まで思いもよらなかった様々なことが可能になるかもしれない。しかしその時、教会はどう変化するか。学校教育はどう変化するか。社会はどう変わるのか。一つ、嫌な警告をしておこう。IT 化は国家統制と全体主義を生み易いと思う。